

2010年度

科目名	米文学概論2		
担当教員	北川 文雄		
配当	文 2	コード	42190
開期	後期	講時	木曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	米文学の要点と特徴の把握		
目的と概要	ヨーロッパの理想郷として発見された新大陸アメリカは、一体どのような意識をアメリカに移住してきた人々の精神に植えつけることになったのか。植民地時代から現代に至るまでの時代と社会の移り変わりを概観し、アメリカの人々の意識を規定する支配的なイデオロギーを検討するとともに、文学はそれに対してどのような姿勢をとってきたのか、主要な作家とその作品を検討しながらアメリカ文学の特徴を探究する。		
成績評価法	レポート(30%)とテスト(70%)を総合して評価する。		
テキスト	板橋好枝、高田賢一編著『はじめて学ぶアメリカ文学史』ミネルヴァ書房		
参考書	授業中に随時紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	テキストには各作家の代表作品のさわりの箇所が原文で載せられている。作家の特徴が文体によく表れているので、各自で何度も読み、文学に親しんでもらいたい。		
講義計画			
1	リアリズムと自然主義の文学(1)Mark Twain		
2	リアリズムと自然主義の文学(2)Henry James		
3	リアリズムと自然主義の文学(3)Stephen Crane, Frank Norris		
4	リアリズムと自然主義の文学(4)Theodore Dreiser		
5	リアリズムと自然主義の文学(5)Kate Chopin, Willa Cather		
6	アメリカ文学の成熟(1)Sherwood Anderson, F. Scott Fitzgerald		
7	アメリカ文学の成熟(2)Ernest Hemingway		
8	アメリカ文学の成熟(3)William Faulkner		
9	アメリカ文学の成熟(4)John Steinbeck		
10	第二次大戦後の文学(1)Saul Bellow		
11	第二次大戦後の文学(2)Bernard Malamud, J. D. Salinger		
12	第二次大戦後の文学(3)Flannery O' Connor, William Styron, Walker Percy		
13	アメリカ文学の現在(1)Thomas Pynchon		
14	アメリカ文学の現在(2)Toni Morrison, Alice Walker		
15	まとめ		